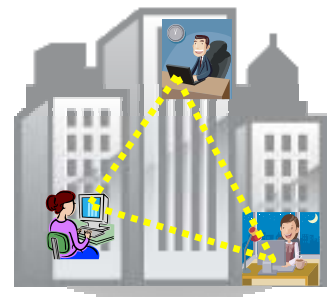


Web 会計システム

Web システムこそ機動力を要請される企業に不可欠です。いつでも、どこからでもネットワーク経由でシステムにアクセスし、状況の把握と分析を行うことができます。

会計規則は一般に国ごとに決められていますが、正しい経営判断の仕方はビジネスによって異なります。ビジネスにピッタリ合った会計システムを持つことが安定した経営に欠かせないという事が、独自の会計システムを持つ理由の一つです。規模の大きな企業や躍進著しい企業が会計システムを新規開発し、更新する理由はこの点にあります。



Web 会計システムはセミオーダーメイドのシステムです。お客様の要望を取り込む事はオーダーメイドのシステムとまったく同じです。要件が固まった後は、従来方式の開発に比べておよそ半分くらいの工期でシステムが完成します。Java のプログラムを自動生成する「Web ロボ」を使って開発するので、オーダーメイドのシステムと全く同じ作りになります。自動化率はシステムの内容によって大きく異なります。これまでの経験では、開発に掛かるトータルコストのおよそ3割程度の削減ができます。

Web 会計システムのベースは漁業協同組合の会計システムをモデルにしていますが、次に示した通り、一般の企業会計システムが持つ基本的な機能を備えています。

Web 会計システムが備えている基本機能：

仕訳入力、仕訳修正、仕訳日報、日次集計、日計表、仕訳帳、元帳閲覧、元帳印刷、補助簿閲覧、補助簿印刷、補助簿内訳残高一覧表、勘定科目残高一覧表、比較貸借対照表、部門別試算表、比較損益計算書、合算試算表、部門別損益計算書、勘定科目一覧表、補助簿一覧表

各マスターを CSV ファイル出力、各マスター項目登録保守、年次更新

セミオーダーメイドシステムの本領発揮はここからです。お客様が求める会計システムの要件を固める作業はオーダーメイドのシステムを作る場合とまったく同じように行われます。しかも見本がある分、この要件定義に掛かる労力と期間は、一から作り上げる場合に比べて軽減されます。勿論、新会計システムについての具体的な構想を事前に固めておくことは必須です。

要件が固まった後は、Web ロボの様式に沿って設計します。Web ロボで Java プログラムを自動生成する仕組はおよそ次のステップで行われます。

- ① システムで使うデータを定義する。その際にデータ変換が必要な項目については関数を作る。
- ② 用意してある業務パターンの中から該当するパターンを選んで基本構成プログラムを作る。
- ③ 設計した画面や帳票から当該プログラムを作る。



自動生成できない分については別途作ります。できたプログラムは、その場で動作テストを行うことができます。

